

# 平成 22 年度事業報告書

## I 組織

### 1 会員について

一般会員の退会 1 事業所 十日町織物工業協同組合

(参考) 会員内訳(平成 23 年度)

地域インフラ運営会員	5 事業所
一般会員	7 事業所
個人会員	2 名

## II 事業実績

### 1 新潟県 I T 産業ネットワーク 21 への参加

- ・平成 22 年度総会 (平成 22 年 6 月 16 日 NICO プラザ会議室) へ会長出席
- ・十日町地域幹事として幹事会(新潟市)へ会長 6 回出席

### 2 新潟県 I T & I T S 推進協議会へ加入

- ・平成 22 年度入会し地域情報化の支援事業を実施

### 3 十日町産業フェスタ 2010

- ・日時：平成 22 年 10 月 23 日 (土) ~24 日 (日)

会場：越後妻有交流館 キナーレ、クロス 10

主催：十日町産業フェスタ実行委員会 (十日町商工会議所)

内容：「産業連携・宇宙ビジネス到来～これからの産業発掘～」

暮らしとつながる宇宙先端技術のご紹介

■イベント内容 当フォーラム会場：キナーレ 多目的ホール

セミナー会場：クロス 10 レセプションホール

#### (1) JAXA 知的財産・最先端技術活用ビジネス創出セミナー

##### ①テーマ

「産業連携・宇宙ビジネス到来～これからの産業発掘～」

暮らしとつながる宇宙先端技術のご紹介

②講師 宇宙航空研究開発機構・JAXA 産業連携センター職員 横尾孝之氏

③日時 10月24日(日) 午前10時~11時

#### (2) 宇宙航空研究開発機構・JAXA exhibition(展示会)

①「みちびき」打ち上げ他 放映

②宇宙技術開発展 宇宙服展示

③宇宙食体験 宇宙食の販売

## ■会場風景

### セミナー風景



宇宙服展示

宇宙食販売



## 4 IT&ITS推進協議会支援事業

### (1) 高度IT利活用普及啓発セミナー

主に地元自治体、測量関係、IT関係の方々から参加いただいた。

(聴講者21名)

3D空間構築技術について基礎から応用までをご理解いただく機会となった。講演の感想として以下のものがありました。

- ・大変興味のある充実した内容でした。(分かり易かった)
- ・技術の進歩と活用の可能性に驚かされた
- ・3D空間構築技術の話しをととても興味深く聴く事ができた。
- ・今の仕組みがとても参考になった。

- ・基礎から応用まで分かりやすく説明頂き理解しやすかった。
- ・講演内容を実際に試して見たいと思いました。
- ・なかなか聞けない I T の最前線の話しが聴けて良かった。
- ・こういったシステムが普及するとどんな世界になるか興味がわきます。

また、セミナー後に測量関係者から地元測量業者で連携できることがあれば協力したいとのお話しも頂き、活動をご理解いただくのにも良い機会となりました。

引き続きブロードバンド回線の活用にもつながる 3 D - G I S システムの利活用に取り組んで行きたいと思えます。



## (2) 地域観光情報提供システム実証事業

### ①事業目的

地域内整備が進んで来た高速インターネット網を更に活用する為に、WEB ベース GIS 等を応用した十日町地域観光情報提供システムを構築し、高度なブロードバンドインターネット活用に関する実証検討を行う。

### ②松代駅周辺の芸術作品の 3 D - M A P

- ・川、棚田、松代城跡の形状が分かり易い
- ・作品の位置関係も平面より分かりやすく表現されている。



### ③まとめ

- ・ 3Dを使うと当地域のように盆地であり起伏ある地形は利用者にとってもイメージしやすい。
- ・ 大地の芸術祭の作品は道も細い山中に設置され位置を示す場合、GoogleMap では周辺の情報量が少なく地図での案内が難しいが、精度の高い航空写真を使うと位置が明確に確認できる。
- ・ 主要道路は建物も3D化する（または要望にあったGoogle ストリートビューとの連携）ことで効果が増す。ツアー／フライオーバー機能も連携するとダイナミックな案内ができる。
- ・ 上記の特徴を活かしながら操作性を向上させるために既存のホームページとの連携を密にして、誰でも簡単に操作できるような工夫が必要である。
- ・ 地図データについては画面表示が遅いとの感想もあり、使用するデータの見直しや表示方法の研究が必要である。
- ・ 引き続き3Dの効果の活用と操作性、利便性の向上に向け研究を進め、ネットワークインフラの利活用を進める。

## 4 妻有ネットフォーラムのホームページのリニューアル

活動内容をPRできるサイトに再構築を行った。(BinDツール購入)

The image shows a screenshot of the TsunamiNet Forum website. The page is titled "妻有ネットフォーラム" (TsunamiNet Forum) and features a 3D map of the area. The website layout includes a navigation menu on the left with options like "EVENT", "ACTION", and "GIS研究会 実践事業". The main content area is divided into several sections: "TsunamiNet Forum new-year seminar", "妻有ネットフォーラム 新春セミナー", "3D-GIS 3次元空間情報システムの最新状況", "GIS研究会 実践事業", and "GIS研究会設立趣旨". The 3D map shows a topographic view of the region, with various landmarks and terrain features visible. The text on the page provides information about the forum's activities, seminars, and research projects.